



2014年11月20日

「マツダ アテンザ」「マツダ CX-5」を大幅改良

—マツダの最新のクルマづくりの考え方・技術を反映させ、あらゆる領域を熟成、深化—

マツダ株式会社(以下、マツダ)は「魂動(こどう)デザイン」や「SKYACTIV(スカイアクティブ)技術」*1が高く評価されている『マツダ アテンザ』および『マツダ CX-5』を大幅改良し、全国のマツダ系、マツダアンフィニ系販売店を通じて発売します。なお「CX-5」はマツダオートザム系販売店でも発売します。発売日は「アテンザ」「CX-5」とも、2015年1月7日の予定です。



「マツダ アテンザ XD L Package」



「マツダ CX-5 XD L Package」

「アテンザ」はマツダのフラッグシップモデルとして、また「CX-5」は新世代商品群第一弾として、マツダの商品ラインナップをけん引してきました。

今回の大幅改良では、「アテンザ」「CX-5」とも、お客さまにお届けする価値をより大きく、洗練されたものに育て、お客さまに深く愛される1台となるよう、マツダの最新のクルマづくりの考え方・技術を反映させ、インテリアやエクステリア、機能性、乗り心地、安全性など、あらゆる領域の熟成、深化を図りました。

マツダは、「お客さまの人生においてかけがえのない存在となり、お客さまと特別な絆を持ったブランドになること」を目指しています。この実現のため、マツダでは「CX-5」以降の新世代商品すべてにおいて、一貫性・継続性を持った開発を行い、「マツダ独自の価値」を余すことなく体現することに全力を注ぎました。マツダは今後も常にありべき理想の姿を追い求め、モデルチェンジなどのタイミングにとらわれず、各モデルの熟成、深化を行ってまいります。

■「マツダ アテンザ」「マツダ CX-5」に共通する大幅改良の概要は以下のとおり

走りの楽しさと運転の安心感を支える、先進安全技術「i-ACTIVSENSE(アイ・アクティブセンス)」*2の進化

- 夜間や高速走行時の運転をより安心して「走る喜び」を感じていただけるよう、先進安全技術「i-ACTIVSENSE」の中でも特にドライバーの認知支援を強化。
 - 日本の自動車メーカーとして初*3のLEDアレイ方式グレアフリー(防眩)ハイビームを備えた新世代ヘッドライトシステム「アダプティブ・LED・ヘッドライト(ALH)」を搭載。対向車や先行車のドライバーを眩惑させることなく、常時ハイビームでの走行が可能*4となり、夜間走行における視認性を飛躍的に向上。
 - 従来の「リア・ビークル・モニタリングシステム(RVM)」の検知範囲を広げ、自車の後方のみならず側方から接近する車両も検知する「ブラインド・スポット・モニタリング(BSM)」を採用。後退時に接近する車両を検知して警告する「リア・クロス・トラフィック・アラート(RCTA)」機能も採用。
 - マツダ初採用の「レーンキープ・アシスト・システム(LAS)」により、車線を認識してステアリング操舵トルクのアシストやステアリング振動警報によって運転操作をサポート。
 - 高速走行時のドライバーの運転状態をチェックし、適度な休憩を促す「ドライバー・アテンション・アラート(DAA)」をマツダ初採用。
 - 事故の多い後退時(Rレンジ)の衝突被害を軽減する、「スマート・シティ・ブレーキ・サポート[後退時](SCBS R)」、および「AT誤発進抑制制御[後退時)」を採用。
 - 「アテンザ」に従来から設定していた、中高速での走行時の前方衝突の回避と被害の軽減をサポートする「スマート・ブレーキ・サポート(SBS)」については対応可能な相対速度差を拡大(「CX-5」は追加

設定)。

- 設定した車速に応じた車間距離を保つよう自動で車速を調整する「マツダ・レーダー・クルーズ・コントロール(MRCC)」を「CX-5」にも追加設定(「アテンザ」は従来より設定)。
- 「アダプティブ・LED・ヘッドライト(ALH)」「ブラインド・スポット・モニタリング(BSM)」「レーンキープ・アシスト・システム(LAS)」を標準装備した新グレード「PROACTIVE」を設定。



「アダプティブ・LED・ヘッドライト(ALH)」使用イメージ

走りの気持ち良さを、より上質に磨き上げたダイナミック性能

- 新構造の前後ダンパー、フロントロアアームのブッシュ形状最適化などにより実現したスムーズでフラットな質感高い乗り心地。
- より快適に会話を楽しめるようNVH性能を向上。車内に伝わる騒音を、「アテンザ」では荒れた路面走行時で従来比約10%、高速走行時で同約25%低減。「CX-5」では高速走行時に車内に伝わる騒音を従来比約10%低減。
- 高振動吸収ウレタンを採用するなど進化したフロントシート、リアシート構造により、包まれるかのようなフィット感と優れたホールド性、上質な乗り心地を実現。「CX-5」ではリアシートの座面長を拡大し、姿勢の自由度をアップ。
- ガソリンエンジン車には、走行モードを切り替えることで意のままの走りをサポートする「ドライブセレクション」を採用。
- 「アテンザ」SKYACTIV-D 2.2搭載車には、新世代4WDシステムを新たに設定。優れた走破性と車両の安定性、燃費性能を高次元で両立。
- 「アテンザ」「CX-5」とも新世代4WDシステムのPTO*5・リヤデブ*6オイルに新開発の低粘度化学合成オイルを採用。「CX-5」は4WD車の実用燃費がさらに向上。

■「マツダ アテンザ」大幅改良の概要は以下のとおり

魂動デザインを磨き上げ、より精悍に深化したエクステリアデザイン

- 水平基調を強めたフィンデザインと、より立体的な造形のシグネチャーウィングにより、精悍さとエレガントさを増したフロントフェイス
- LED発光シグネチャーを採用したリアコンビネーションランプによる、引き締まったリアビュー。
- フロントにLEDシグネチャーウィングを採用することで、夜間でのブランド表現を強化(L Packageに標準装備)。
- 従来よりもダークな色調を採用し、金属感と深みのある輝きを強調する高輝度塗装の19インチアルミホイール(L Packageに標準装備)。
- 新開発のソニックシルバーメタリック、「アクセラ」から採用しているチタニウムフラッシュマイカを追加し、全8色をラインナップしたエクステリアカラー。

洗練を極め、研ぎ澄ませた質感と先進の機能を持ったインテリアデザイン

- インstrumentパネルやセンターコンソールの造形を大胆に変更し、インテリアを一新。パーツのつながりや統一感を徹底的に研ぎ澄まし、フラッグシップモデルに相応しい質感を大幅に向上。
 - 独自のヒューマン・マシン・インターフェイス(HMI)*7コンセプト「Heads-up Cockpit」に基づき、ドライバーオリエンテッドなコックピット空間と、横方向にすっきりと広がるInstrumentパネル造形による開放的な助手席空間を両立。
 - 黒の本革内装と黒のファブリック内装を継承したうえで、白の本革内装はピュアホワイトに変更。さらに本革内装には新たなカラーコーディネーションを採用。
 - 電動パーキングブレーキ(EPB)の全車標準装備に伴い、すっきり感と上質さを磨き上げたセンターコンソール。
 - 高さを抑えたダッシュボード上に独立して配置した7インチセンターディスプレイ。
 - 車速や先進安全装備の情報など、リアルタイムに変化する情報を表示する「アクティブ・ドライビング・

- ディスプレイ」を全車標準装備。
- スマートフォン等と連携して、インターネット接続やコミュニケーションの機能をクルマでの移動中にも手軽に、安全に利用できるカーコネクティビティシステム「MAZDA CONNECT(マツダ コネクト)」を採用。ドライビング姿勢を崩すことなく操作ができるコマンダーコントロールと合わせて全車標準装備。
 - マツダ初採用の後席シートヒーターにより、快適性を向上(L Packageに標準装備)。
 - スイッチ操作により自動で展開・格納できる電動リアサンシェード(セダンL Packageに標準装備)。



「アテンザ XD L Package」リアビュー



「アテンザ XD L Package」インテリア

**■「マツダ CX-5」大幅改良の概要は以下のとおり
力強さと精悍さが際立つ、洗練のエクステリアデザイン**

- グレーメタリックで塗装した水平基調のフィンを採用し、より精悍で引き締まったデザインへ深化したフロントグリル(全車標準装備)。
- 内部造形を一新するとともに、ユニット内シグネチャーLEDランプを採用してより生命感を高めたLEDヘッドランプとLEDリアコンビネーションランプ(全車標準装備)。
- 19インチアルミホイールに、立体感のある造形に切削加工とガンメタリック塗装を施した新デザインを採用(L Packageに標準装備)。
- 新開発のソニックシルバーメタリック、「アクセラ」から採用しているチタニウムフラッシュマイカを追加し、全8色をラインアップしたエクステリアカラー。

SUVらしい機能性と力強さを、より質感高く磨き上げたインテリア

- ヒューマン・マシン・インターフェイス(HMI)*7思想「Heads-up Cockpit」コンセプトに基づくドライバーオリエンテッドなコックピット空間と、SUVならではの機能性や力強さ、そして品格の高さを融合させたインテリア。
- 電動パーキングブレーキ(EPB)の全車標準装備に伴い、すっきり感と上質さを磨き上げたセンターコンソール。
- 造形の塊感や横方向への力の広がりを感じさせる金属調加飾の採用。
- 全体的な統一感を守りながら、より上質な印象を持たせたライトヘアラインのデコレーションパネル。L Packageにはさらに洗練させたマットヘアライン&サテンクロームメッキを設定。
- ブラックの本革内装を継承した上で、本革内装にはピュアホワイトを新採用。ファブリックシートはセンター部分に新開発のグロスブロッククロスを採用。
- スマートフォン等と連携して、インターネット接続やコミュニケーションの機能をクルマでの移動中にも手軽に利用できるカーコネクティビティシステム「MAZDA CONNECT(マツダ コネクト)」を採用。ドライビング姿勢を崩すことなく操作ができるコマンダーコントロールと合わせて全車標準装備。
- シフトノブ前のオープンスペース、コンソールボックス、フロントドアポケットの容量を大幅に拡大。センターコンソールではカップホルダーのアジャスター機能や小物入れも追加。



「CX-5 XD L Package」ヘッドランプ



「CX-5 XD L Package」インテリア

■「マツダ アテンザ」のメーカー希望小売価格(消費税込)は以下のとおり

アテンザセダン／アテンザワゴン

(※写真掲載のモデル)

機種名	駆動	エンジン	変速機	メーカー希望 小売価格 (消費税込・円)	JC08モード 燃費*8		減税レベル*9 取得税 / 重量税	
					セダン (km/L)	ワゴン (km/L)		
20S	2WD (FF)	SKYACTIV-G 2.0	6EC-AT	2,764,800	17.4	17.4	免税	
20S PROACTIVE				2,867,400	17.4	17.4		
25S L Package				3,331,800	16.0	16.0		80% / 75%
XD		SKYACTIV-D 2.2		3,175,200	20.0	19.6		
XD PROACTIVE				6MT	3,229,200	22.4	22.2	
XD L Package ※				6EC-AT	3,277,800	20.0 (19.6)	19.6	
				6MT	3,331,800	22.4	22.2	
				6EC-AT	3,742,200	20.0 (19.6)	19.6	
				6MT	3,742,200	22.4	22.2	
XD		4WD		6EC-AT	3,402,000	18.2	18.2	免税
XD PROACTIVE	6MT		3,456,000	20.4	20.4			
XD L Package	6EC-AT		3,504,600	18.2	18.2			
	6MT		3,558,600	20.4	20.4			
	6EC-AT		3,969,000	18.2	18.2			
	6MT		3,969,000	20.4	20.4			

- 上記メーカー希望小売価格に加えて、購入時にリサイクル料金11,710円が別途必要。
- JC08モード燃費欄()内は、メーカーオプションの電動スライドガラスサンルーフ装着車の場合。
- 特別塗装色「ソウルレッドプレミアムメタリック」を選択した場合は、54,000円高(消費税込)。
- 特別塗装色「スノーフレイクホワイトパールマイカ」を選択した場合は、32,400円高(消費税込)。

■「マツダ CX-5」のメーカー希望小売価格(消費税込)は以下のとおり

(※写真掲載のモデル)

機種名	駆動	エンジン	変速機	メーカー希望 小売価格 (消費税込・円)	JC08 モード 燃費*8 (km/L)	減税レベル*9 取得税 / 重量税
20S	2WD (FF)	SKYACTIV-G 2.0	6EC-AT	2,446,200	16.4	80% / 75%
20S PROACTIVE				2,548,800		
25S L Package				2,872,800	15.2	
25S	4WD	SKYACTIV-G 2.5		2,673,000	14.6	80% / 75%
25S PROACTIVE				2,775,600		
25S L Package				3,099,600		
XD	2WD (FF)	SKYACTIV-D 2.2		2,835,000	18.4	免税
XD PROACTIVE				2,937,600		
XD L Package				3,261,600		
XD	4WD			3,061,800	18.0	
XD PROACTIVE			3,164,400			
XD L Package※			3,488,400			

- 上記メーカー希望小売価格に加えて、購入時にリサイクル料金11,710円が別途必要。
- 特別塗装色「ソウルレッドプレミアムメタリック」を選択した場合は、54,000円高(消費税込)。
- 特別塗装色「クリスタルホワイトパールマイカ」を選択した場合は、32,400円高(消費税込)。

- *1 「サステイナブル“Zoom-Zoom”宣言」に基づいて、「走る歓び」と「優れた環境・安全性能」を高次元で調和することを目標に開発したエンジン(ガソリン・ディーゼル)、トランスミッション、ボディ、シャシーなどの新世代技術の総称。
- *2 ミリ波レーダーや近赤外線センサー、カメラなどの検知デバイスを用いて、「ドライバーの運転を支援する」「危険認知を支援する」「衝突を回避し、被害の軽減を図る」ことを目指した先進安全技術の総称
- *3 2014年11月現在、マツダ調べ
- *4 道路周辺の照明環境、走行速度等により、機能が一部制限されます。
- *5 Power take-offの略で、前輪駆動するエンジン動力を後輪駆動のために取り出す機構を持つユニットのこと。
- *6 後輪用デファレンシャルユニットの略
- *7 Human Machine Interfaceの略で、運転中に発生する様々な情報をドライバーとクルマの間で適切にやりとりするための装置や仕組みの総称。
- *8 JC08モード燃費。国土交通省審査値
- *9 環境対応車普及促進税制による減税措置

☒ CLOSE

[▲](#) PAGE TOP